Report

令和８年の熱中症による救急搬送状況

救急企画室

1 はじめに

消防庁では、平成20年から全国の消防本部を対象として、熱中症による救急搬送人員を調査しています。

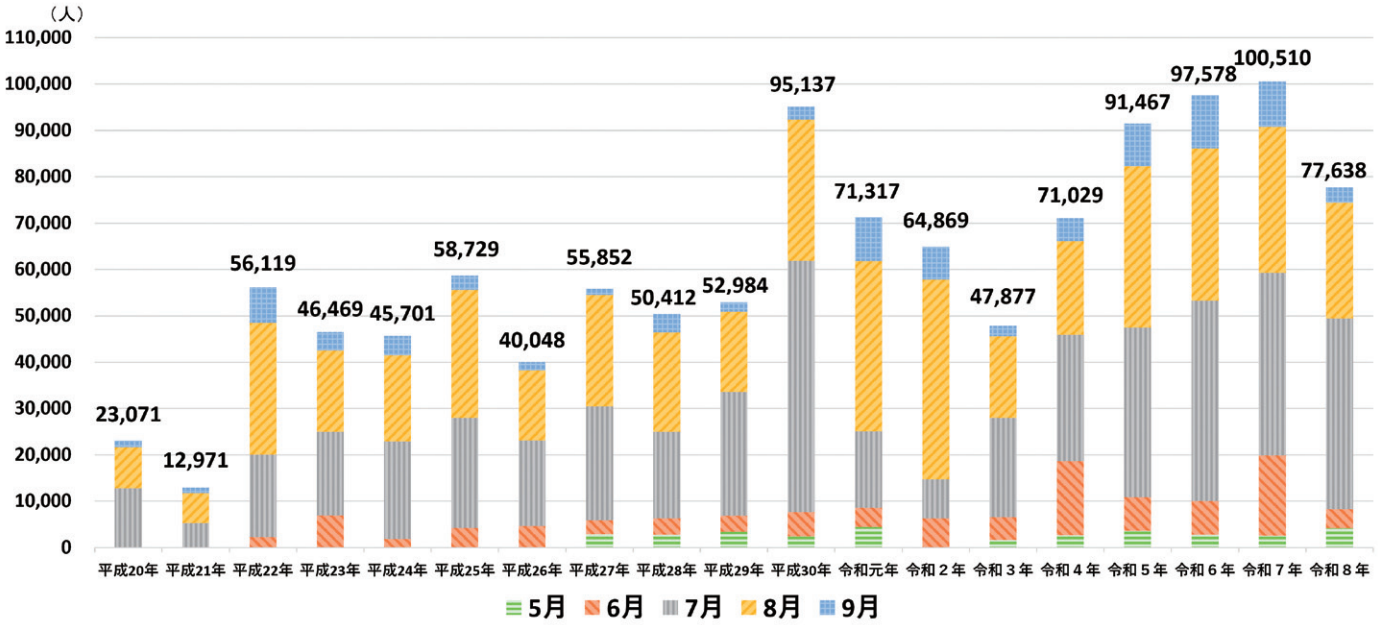
この度、令和８年５月から９月までの全国における熱中症による救急搬送状況を取りまとめましたので、その概要を報告します。

2 熱中症による救急搬送状況

令和８年５月から９月までの全国における熱中症による救急搬送人員の合計は77,638人でした。これは、調査を開始した平成20年以降で５番目に多い搬送人員です。

特に、７月中旬から下旬にかけて非常に厳しい暑さとなったことから、７月は、過去３番目に多い搬送人員となりました。

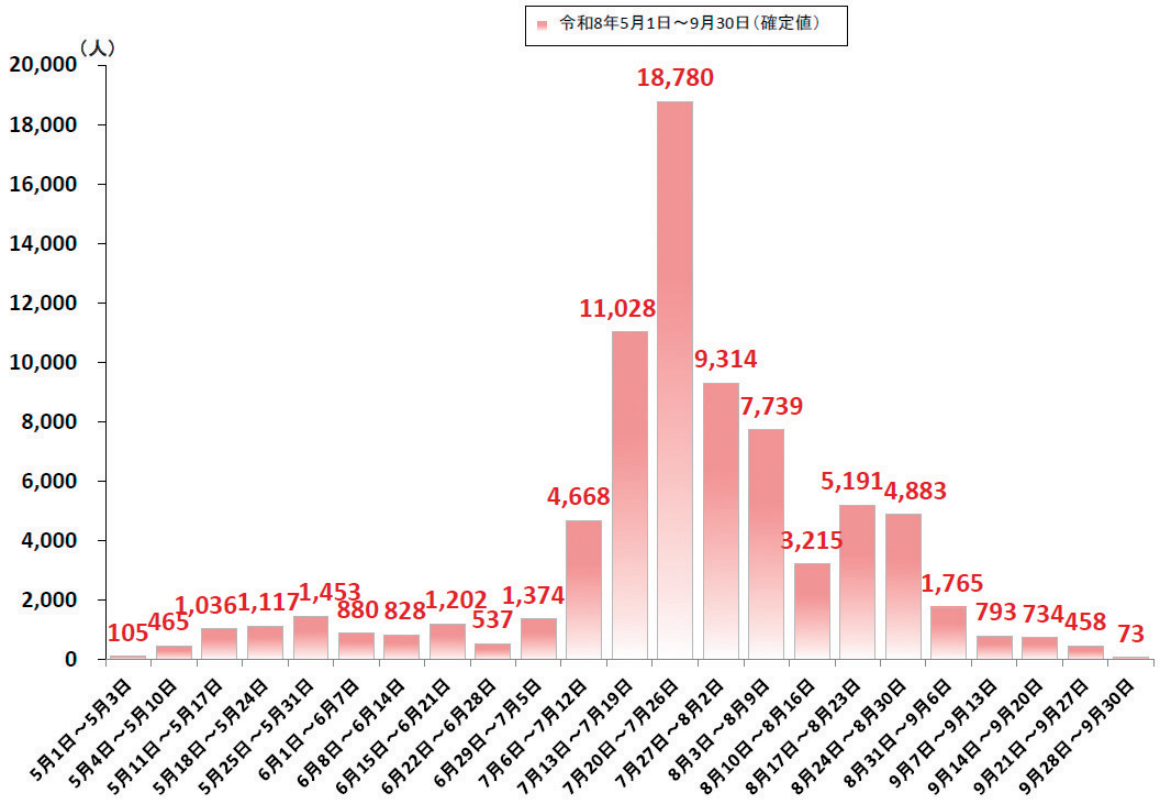
表１　平成20年～令和８年の熱中症による救急搬送人員の推移



	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
5月	調査データなし							2,904	2,788	3,401	2,427	4,448	調査データなし	1,626	2,668	3,655	2,799	2,614	4,176
6月	調査データなし		2,276	6,980	1,837	4,265	4,634	3,032	3,558	3,481	5,269	4,151	6,336	4,945	15,969	7,235	7,275	17,229	4,064
7月	12,747	5,294	17,750	17,963	21,082	23,699	18,407	24,567	18,671	26,702	54,220	16,431	8,388	21,372	27,209	36,549	43,195	39,375	41,174
8月	8,857	6,495	28,448	17,566	18,573	27,632	15,183	23,925	21,383	17,302	30,410	36,755	43,060	17,579	20,252	34,835	32,806	31,526	24,956
9月	1,467	1,182	7,645	3,960	4,209	3,133	1,824	1,424	4,012	2,098	2,811	9,532	7,085	2,355	4,931	9,193	11,503	9,766	3,268
合計	23,071	12,971	56,119	46,469	45,701	58,729	40,048	55,852	50,412	52,984	95,137	71,317	64,869	47,877	71,029	91,467	97,578	100,510	77,638

※令和２年は新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、調査を６月から開始

図１　熱中症による救急搬送状況（令和８年）「調査開始から各週の比較」



②　年齢区分別救急搬送人員（図２）（表２）

高齢者（満65歳以上）が最も多く46,345人（59.7%）、次いで成人（満18歳以上満65歳未満）24,509人（31.6%）、少年（満７歳以上18歳未満）6,380人（8.2%）、乳幼児（生後28日以上満７歳未満）399人（0.5%）の順となりました。

熱中症による救急搬送状況（令和４年～令和８年）

図２　年齢区分別（構成比）

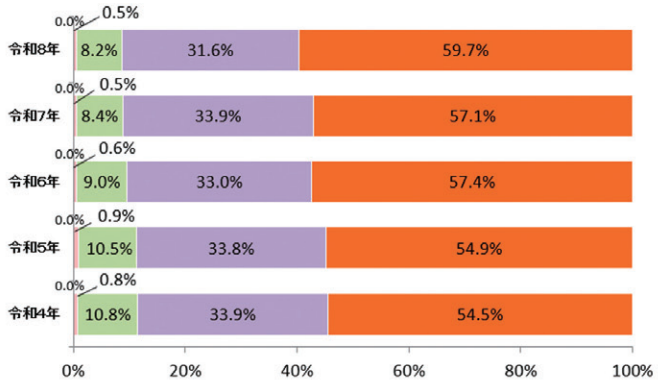


表２　年齢区分別（構成比）

	年齢区分別(人)					
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
令和8年	5	399	6,380	24,509	46,345	77,638
	0.0%	0.5%	8.2%	31.6%	59.7%	100%
令和7年	3	531	8,447	34,096	57,433	100,510
	0.0%	0.5%	8.4%	33.9%	57.1%	100%
令和6年	2	601	8,787	32,222	55,966	97,578
	0.0%	0.6%	9.0%	33.0%	57.4%	100%
令和5年	5	796	9,583	30,910	50,173	91,467
	0.0%	0.9%	10.5%	33.8%	54.9%	100%
令和4年	2	566	7,636	24,100	38,725	71,029
	0.0%	0.8%	10.8%	33.9%	54.5%	100%

※端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

■ 新生児：生後28日未満の者
■ 乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者
■ 少　年：満7歳以上満18歳未満の者
■ 成　人：満18歳以上満65歳未満の者
■ 高齢者：満65歳以上の者

Report

③　傷病程度別救急搬送人員（図３）（表３）

軽症（外来診療）が最も多く46,346人（59.7%）、次いで中等症（入院診療）、28,775人（37.1%）、重症（長期入院）2,055人（2.6%）、死亡120人（0.2%）の順となりました。

熱中症による救急搬送状況（令和４年～令和８年）

図３　初診時における傷病程度別（構成比）

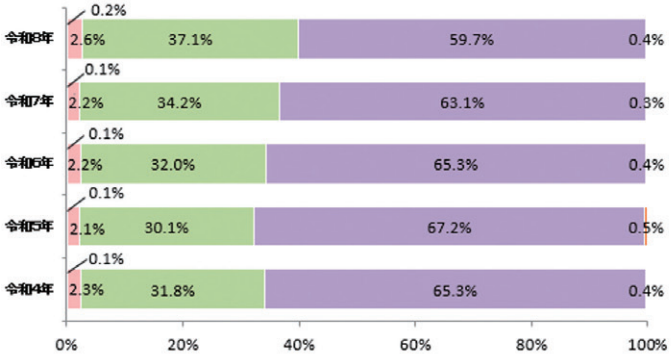


表３　初診時における傷病程度別（構成比）

	初診時における傷病程度別(人)					
	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
令和8年	120	2,055	28,775	46,346	342	77,638
	0.2%	2.6%	37.1%	59.7%	0.4%	100%
令和7年	117	2,217	34,399	63,447	330	100,510
	0.1%	2.2%	34.2%	63.1%	0.3%	100%
令和6年	120	2,178	31,194	63,718	368	97,578
	0.1%	2.2%	32.0%	65.3%	0.4%	100%
令和5年	107	1,889	27,545	61,456	470	91,467
	0.1%	2.1%	30.1%	67.2%	0.5%	100%
令和4年	80	1,633	22,586	46,411	319	71,029
	0.1%	2.3%	31.8%	65.3%	0.4%	100%

※端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

■ 死　　亡　初診時において死亡が確認されたもの

■ 重　　症（長期入院）　傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの

■ 中 等 症（入院診療）　傷病程度が重症または軽症以外のもの

■ 軽　　症（外来診療）　傷病程度が入院加療を必要としないもの

■ そ の 他　医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、その他の場所へ搬送したもの

※なお、傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、軽症の中には早期に病院での治療が必要だった者や通院による治療が必要だった者も含まれる。

④　発生場所別救急搬送人員（図４）（表４）

住居が最も多く30,718人（39.6%）、次いで道路16,080人（20.7%）、公衆（屋外）8,529人（11%）、仕事場①7,565人（9.7%）の順となりました。

熱中症による救急搬送状況（令和４年～令和８年）

図４　発生場所別（構成比）

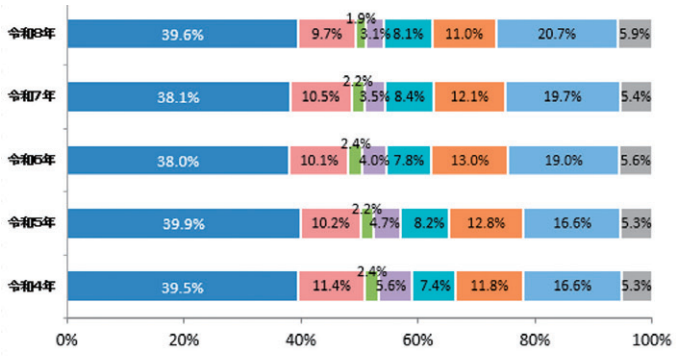


表４　発生場所別　（構成比）

	発生場所別(人)								
	住居	仕事場①	仕事場②	教育機関	公衆(屋内)	公衆(屋外)	道路	その他	合計
令和8年	30,718	7,565	1,469	2,371	6,318	8,529	16,080	4,588	77,638
	39.6%	9.7%	1.9%	3.1%	8.1%	11.0%	20.7%	5.9%	100%
令和7年	38,292	10,559	2,226	3,553	8,462	12,175	19,773	5,470	100,510
	38.1%	10.5%	2.2%	3.5%	8.4%	12.1%	19.7%	5.4%	100%
令和6年	37,116	9,870	2,332	3,885	7,644	12,727	18,576	5,428	97,578
	38.0%	10.1%	2.4%	4.0%	7.8%	13.0%	19.0%	5.6%	100%
令和5年	36,541	9,324	2,013	4,310	7,497	11,742	15,186	4,854	91,467
	39.9%	10.2%	2.2%	4.7%	8.2%	12.8%	16.6%	5.3%	100%
令和4年	28,064	8,127	1,690	3,975	5,248	8,368	11,807	3,750	71,029
	39.5%	11.4%	2.4%	5.6%	7.4%	11.8%	16.6%	5.3%	100%

※端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

■ 住　　居（敷地内全ての場所を含む）

■ 仕 事 場①（道路工事現場、工場、作業所等）

■ 仕 事 場②（田畑、森林、海、川等　※農・畜・水産作業を行っている場合のみ）

■ 教 育 機 関（幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学等）

■ 公衆（屋内）　不特定者が出入りする場所の屋内部分（劇場、コンサート会場、飲食店、百貨店、病院、公衆浴場、駅(地下ホーム)等）

■ 公衆（屋外）　不特定者が出入りする場所の屋外部分（競技場、各対象物の屋外駐車場、野外コンサート会場、駅(屋外ホーム)等）

■ 道　　路（一般道路、歩道、有料道路、高速道路等）

■ そ の 他（上記に該当しない項目）

3 消防庁の取組

消防庁では、毎年全国消防イメージキャラクター「消太（しょうた）」を活用した熱中症予防啓発ポスター及び熱中症対策リーフレットを作成するとともに、消防庁Xで、熱中症予防に関する呼びかけを発信しています。今年は、映画「トイ・ストーリー５」とタイアップした熱中症予防啓発ポスターを作成し、全国の消防本部等に配付しました。

また、都道府県や消防本部に対しては、

・夏季を待たずして早期に、住民に対する積極的な予防啓発
・予備車等を活用した出動体制の確保及び住民への救急車の適時・適切な利用の呼びかけ
・熱中症予防啓発コンテンツを活用した積極的な広報
・官民連携による効果的な取組の推進

などについて依頼し、ご協力をいただきました。

さらに、「熱中症予防強化キャンペーン」として、関係府省庁や官民連携の下、時季に応じた適切な熱中症予防行動の呼びかけを行うとともに、狙いを絞った効果的な普及啓発や注意喚起等の広報活動を実施しました。

4 おわりに

今年度の熱中症による救急搬送人員のデータを、消防庁ホームページの熱中症情報サイトで公表しましたので、是非ご覧ください。消防庁では、今後も関係省庁等と連携をとりながら、熱中症に関する注意喚起や情報提供を行ってまいります。

（参考）
消防庁熱中症情報（予防啓発コンテンツも掲載しています）
https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/post3.html#heatstroke01

問合せ先
消防庁救急企画室
TEL: 03-5253-7529